# 担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書（5年度目）

| 都道府県名 | 市町村名 | 地区名 | 計画承認年度 | 目標年度 | 事業実施主体 |
|---|---|---|---|---|---|
| 長野県 | 安曇野市 | 小倉、温 | 令和2年度 | 令和4年度 | 安曇野市 |

## Ⅰ　地区の成果目標

（単位：経営体、％）

| 項　　目 | | 目標<br>達成状況（上段：計画、下段：実績） | | | | | 5年度目<br>達成状況<br>（％） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1年度目 | 2年度目 | 目標年度<br>（3年度目） | 4年度目 | 5年度目 | |
| 目標必須 | 付加価値額の拡大 | 1<br>1 | 1<br>0 | 1<br>0 | 1<br>0 | 1<br>0 | 0 |
| 選択目標 | ① 経営面積の拡大 | 0<br>0 | 1<br>1 | 1<br>1 | 1 | 1 | |
| | ② 農産物の価値向上 | | | | | | |
| | ③ 農業経営の複合化 | | | | | | |
| | ④ 農業経営の法人化 | | | | | | |
| | ⑤ 輸出の取組 | | | | | | |

目標達成状況の上段は目標を設定している経営体の数、下段は目標を達成した経営体の数。（目標の達成以降は数値入力なし）

## Ⅲ　達成状況に関する事業実施主体の所見（評価）

5年度目における「付加価値額の拡大」の目標は未達となった。その要因としては以下のとおりとなる。令和6年5月に多くの圃場がある安曇野市、松本市において凍霜害が発生し、収入の大部分を占めると見込んでいた播種したばかりの「そば」6割と、定植した「ジュース用トマト」の苗4割が大きな被害を受けてしまった。「そば」については70haで再播種を実施し、「ジュース用トマト」は枯れてしまった苗の補植を実施したが、適期に播種ができなかったため計画していた収穫量より3割減となってしまい、収入が大きく減少してしまった。また前年の教訓をもとに組織内部の修繕に努めたが、機械の老朽化と部品価格の高騰により修繕費がかさみ、さらにトマトの収穫機の部品による200万円の出費も大きく影響してしまった。
今後の対応・改善策として、「そば」の播種時期と「トマト苗」の定植時期の見直しを行うとともに、畦畔除草と排水対策の徹底で収量向上を目指していく。また、修繕費の対応策として、定期的な点検を行い、メンテナンスの強化を図ることで、機械の良好な状態を保てるよう努める。